

輝け瞳

2023 1月号

発行:宇治久世教職員組合
宇治市大久保町上ノ山29-1
TEL:0774-44-6191
FAX:0774-44-8026
Mail:ujikuse@khaki.plala.or.jp
部内資料

平和アピール宣伝

宇治久世教職員組合は12月8日(木)に近鉄大久保駅前恒例の「平和アピール宣伝」を行いました。今回は「赤紙」を配布しながら平和への思いを訴えました。

『12月8日は、81年前日本が真珠湾を奇襲し太平洋戦争を始めた日です。日本はこの戦争でアジアの人たち2000万人のいのちを奪い、日本では原爆などで310万人ものいのちが奪われました。大きな犠牲の中から、「もう絶対に戦争はしない、しかけない」と決意し、戦争放棄をうたった日本国憲法が生まれました。今、政府は軍事費を倍増し、憲法9条を変えて「戦争できる国」にしようとしています。憲法を活かし、真に平和な日本を、こどもたちに手渡すために！一緒に手をつないでいきましょう。』

(12月8日に配布した京都母親連絡会のビラより)

「小中一貫校に給食室を作って欲しい」の声をさらに大きく



12月16日に宇治市教委が作成した「小中一貫校整備事業に係る基本設計」には「基本計画」と同様に給食室は設計されていません。宇治市の小学校給食は、自校給食にこだわり、長年奮闘を続けてきた成果です。新しい小中一貫校の子どもたちにも素晴らしい宇治市の学校給食を食べられるようにして欲しいと「宇治市の小学校給食を守る会」として署名活動をしてきました。署名総数は5000筆を超えました。給食室を作れの声をもっと大きく広げましょう。

今回は長年奮闘を続けてこられた給食調理員さんの思いを紹介します。

京教済は 教職員のための共済です。

掛け金600円/月で退職時に全額返金される**総合共済**は結婚、出産等の祝い金、災害時の見舞金等が給付されます。

自動車保険は教職員を**しっかり守ります。**



結婚祝い金など申請期限は3年です。早めの申請をお願いします。

今こそ考えて欲しい給食の大切さ

給食は、子どもたちの食育を担う重要なもので、おなかを満たせばそれでいいというわけではありません。健康面や栄養面を考え、小学生の子どもたちに最高の給食を食べてもらう、これが給食の本来のあり方であり、宇治市がこれまで行ってきたことなのです。だからこそ、新しくできる小中一貫校で給食室が作られないと聞いたときは信じられませんでした。それこそ、宇治の学校から給食室がなくなることは、宇治から茶畑がなくなるのと同じだと思いました。

給食室があるからこそ生まれる子どもとの触れ合い

給食の準備をしていると、匂いにつられて子どもたちが窓から覗いていたり、「今日はお肉やで」と声をかけると喜んだり、逆に「今日は野菜の日やで」と伝えると、しょんぼりした顔をしたりするんです。そういう時でも「食べやすく調理するから少しでもいいから食べてみて」と言うと、「わかった」と言って食べてくれます。

他にも、興味を持った子どもが調理室の見学にくることもありますし、毎日感想を言いに来てくれる子どももいます。

ある時、父子家庭のこどもから「今日の給食おいしかったから、お父さんにも作ってあげたい!」と言われ、レシピを教えてあげました。後日、レシピ通りに作れたようで「お父さん、おいしいって言って食べてくれた!」と笑顔で報告に来てくれました。こういうことがあると、やっぱりこの仕事をしていてよかったと思います。

こんな子どもたちとの日々の関わりができるのも学校に給食室があって、子どもとの距離が近いからだと思います。

これからもずっとおいしい給食を食べてもらいたい

今の宇治市の給食は、食材の鮮度や質にもこだわり、加工食品を使わず、一から調理をしています。また、物資選定委員会にも現場の調理員が入っており、現場の意見を反映した食材を使っています。他市とちがって正職員が多いため、調理技術の継承もしっかりできているのも強みだと思います。

給食試食会に参加した保護者からは、「子どもがいつもおいしいと言っているの、気になっていました。」や「うちの子は家では食べられないものが給食では食べられているので、何か工夫していることがあれば教えて欲しい。」等の声をもらいました。

手作りだから細やかな対応もできるし、子どもの顔が見えるからよりよい給食を作ることができます。単に給食を作るだけでなく、食べてくれる子どもたちの姿が見えることがやりがいにもつながるし、おいしい給食を作ろうという気持ちにもなるのです。だからこそ、これからも自校調理にこだわり続けていきたいです。(宇治市職労新聞 新春特別号より)

